

2015年11月2日

チェコ・フィルハーモニー管弦楽団東京公演に特別協賛しました

MS&ADインシュアランスグループの三井住友海上プライマリー生命保険株式会社(本社：東京都、社長：北川 鉄夫)は、2015年10月28日(水)および31日(土)にサントリーホール(赤坂)で開催された「チェコ・フィルハーモニー管弦楽団」の東京公演に特別協賛しました。

当社はお客さまにより豊かなセカンドライフをお過ごしいただくため、社会保障制度を補完する役割を担う生命保険事業(個人年金保険、終身保険のご提供)を営む傍ら、皆さまに良質の感動をご提供したいとの思いから、世界一流の芸術・文化の紹介を通じた文化貢献活動にも継続的に取り組んでいます。

音楽大国、チェコが世界に誇る「チェコフィル」は、1896年のデビュー公演をドヴォルザークの指揮で開催、さらに1908年マーラーの交響曲第7番をマーラー自身の指揮で初演するなど、世界の音楽史に輝かしい足跡を残し続けている名門オーケストラです。

今回の公演では、チェコが生んだ巨匠イルジー・ビエロフラーヴェク氏に率いられ、十八番であるスメタナの「わが祖国」から始まり、庄司紗矢香(ヴァイオリン)さんら次代を担う若きヴィルトゥオーゾたちとの協奏曲、メインにベートーヴェンやチャイコフスキーの交響曲5番という、まさに今のチェコフィルの神髄を堪能できるプログラムを、ピロードにも喩えられる芳醇な音色で奏で、満員の聴衆を魅了しました。

今後も文化活動への取組みを積極的に推進することで、文化的で豊かな社会作りに貢献してまいります。



写真提供：サントリーホール

当日の東京公演の様子(サントリーホール・大ホール)

本件に関するお問い合わせ先：三井住友海上プライマリー生命保険株式会社
経営企画部 TEL：03-3279-9001



2015 年東京公演概要

公演名：三井住友海上プライマリー生命 *Presents*
チェコ・フィルハーモニー管弦楽団東京公演
日時：2015年10月28日（水）午後7時開演
31日（土）午後6時開演
会場：サントリーホール（赤坂）
主催：日本経済新聞社／ジャパン・アーツ
特別協賛：三井住友海上プライマリー生命
後援：チェコ共和国大使館、公益財団法人日本ピアノ教育連名
協力：ユニバーサル ミュージック

プログラム：

28日（水）

スメタナ：シャルカ～連作交響詩「わが祖国」より

メンデルスゾーン：ヴァイオリン協奏曲 op. 64

庄司紗矢香〔ヴァイオリン〕

ベートーヴェン：交響曲第5番「運命」 op. 67

31日（土）

スメタナ：モルダウ～連作交響詩「わが祖国」より

メンデルスゾーン：ピアノ協奏曲第2番 op. 18

ダニール・トリフォノフ〔ピアノ〕

チャイコフスキー：交響曲第5番 op. 64